

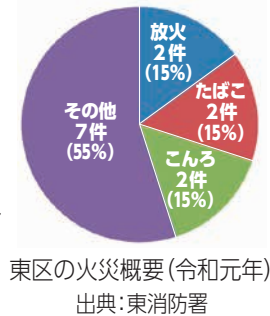


火災による被害を防ぐために、毎年11月9日(119番の日)から秋季全国火災予防運動を1週間実施しています。期間中、広報活動などを行うことで、火災予防意識の一層の普及を図っています。
岡東消防署予防課(☎263-8401、㊟263-7489)

放火されない、放火させないまちづくり

昨年、東区では13件の火災が発生しました。

原因別にみると、不注意によると思われる「たばこ」や「こんろ」の他に、「放火(疑いを含む)」が上位を占めています。放火を防ぐためには、家の周りに燃えやすいものを置かないなど、放火されない環境づくりを心掛けることも大切です。「放火されない、放火させない」ことを基本に、地域ぐるみで「安全で住みよいまちづくり」を目指しましょう。



住宅火災からの逃げ遅れを防ぐ

住宅用火災警報器



消防法の改正により、市では新築住宅は平成18年から、既存住宅は平成23年から住宅用火災警報器の設置が義務化されました。住宅用火災警報器の電池の寿命の目安は約10年とされています。

住宅用火災警報器は、古くなると電池切れや電子部品の劣化などで火災を感知しなくなることがあり、とても危険です。
定期的に点検し、10年を目安に交換しましょう。



ケース別 放火対策

ケース1 家の周りに放置された新聞紙や段ボールに火を付けられた。

⇒ 家の周りを**明るくする!**

センサーライト※を設置すると効果がある

※人などの動きをセンサーで検知し、自動的に点灯します



ケース2 空き家や空き室に入れ火を付けられた。

⇒ 門扉や物置などには**必ず鍵をかける!**

ケース3 自転車・オートバイの車体カバーに火を付けられた。

⇒ 自転車・オートバイの車体カバーを**不燃性のものにする!**



東消防署
マスコット
キャラクター
ふくちゃん

消防団の活動を紹介します!



東消防団
馬木分団 分団長
岡野正浩さん

消防団員は、会社員や自営業の人など、さまざまな職業の人がいます。主な活動は、消火活動の手助けや災害対応など。山林火災が起こったときには、消防職員と連携して可搬ポンプを運び、放水して消火活動を行います。また、災害発生時に備えて年に4回、消防職員とロープ結索や規律訓練などを行います。火災のときに放水するための、ポンプ運用訓練は欠かせません。

平成30年7月豪雨災害では、行方不明者の捜索や高齢者の避難所への送迎などを行いました。消防団は地域の皆さんとの連携が重要です。普段から地域住民との交流を大切にし、住民と一緒に地域の安全を守っていきたくです。



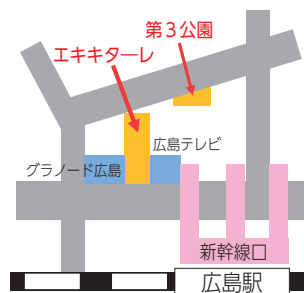
▲捜索中の様子

岡東消防団事務局(東消防署内)☎263-8401、㊟263-7489

エキキタ・カラフルマルシェ

エキキタ(広島駅新幹線口周辺エリア)の秋の恒例イベントを、新しい生活様式を踏まえて、「エキキターレ」と「二葉の里第3公園」で開催します。手作り雑貨のお店、地元的新鲜野菜の産直市、オープンテラスでのおいしいテイクアウトメニューなどを楽しみながら、心地よい秋のひとときを、ゆっくりとお過ごしください。

日11月14日(土)午前11時~午後8時、15日(日)午前10時~午後7時 ※出店は時間帯によって異なります
場エキキターレ、二葉の里第3公園(東区二葉の里三丁目)



会場地図▲



▲昨年の様子



詳しくは
左の二次元
コードから

岡地域起こし推進課(☎568-7704、㊟262-6986)